

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-4-4	事務事業名 図書館施設の計画的な整備	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	-----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 西東京市における公民館と図書館に関するあり方を検討し、既存施設及び保谷駅南口ビルの施設の整備について審議し、計画に反映させていく。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学習活動の推進(創3-2) (主要施策)図書館施設の計画的な整備
	実施内容、実施方法 市民公募を含む委員で委員会及び懇談会で討議し、提言を受ける。	根拠法令等 西東京市新しい公民館・図書館のあり方策定委員会設置要綱 西東京市公民館・図書館施設整備懇談会要綱
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 委員会開催回数 10回を予定
	成果指標名 参加人数	成果指標の考え方(定義) 委員会参加者数 100人を予定 (開催回数 10回×委員数 10人)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	365	332
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源					365
	所要人員(B)	人			0.07	0.07
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	583	583
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	948	915
	単位当たりコスト (E)=(D)/(開催回数)	千円	0	0	118.50	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			10	10
	実績値	回			8	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			100	90
	実績値	人			84	
成果指標	目標値					
実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	施設見学感想として、田無公民館や中央図書館の施設の老朽化が目につく。現在の市民ニーズに対処しにくい施設であり、早急に改善が望まれる。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 13-4-4	事務事業名 図書館施設の計画的な整備	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	-----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	老朽化した既存施設の改修や保谷駅南口ビルへの移設を行うにあたり、今後の指標となる提言「西東京市新しい公民館・図書館のあり方について」を受け、平成17年度には施設面を検討する「公民館・図書館施設整備懇談会」設置に発展した。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	平成20年度に開館予定の保谷駅南口ビル及び30年を経た田無公民館・中央図書館の施設改修を計画する上で、市民公募の委員を含む本委員会の提言は、市民への説明を行う際、基礎の指標となる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	基本的な審議が適切に行われており、最小の費用で大きな成果を生み出している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	委員会の開催を広報誌、市ホームページに掲載し、傍聴の受け入れを行っている。また、会議録を情報公開し、市民が適時閲覧できる体制を整備している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	施設計画の作成及び施設改修の施工が実施されるためには継続して審議していく必要がある。

17年度における改善点	本事業について、市民の合意を得ることが課題であるため、利用者懇談会、アンケート等を利用し、市民の意見を収集する。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。